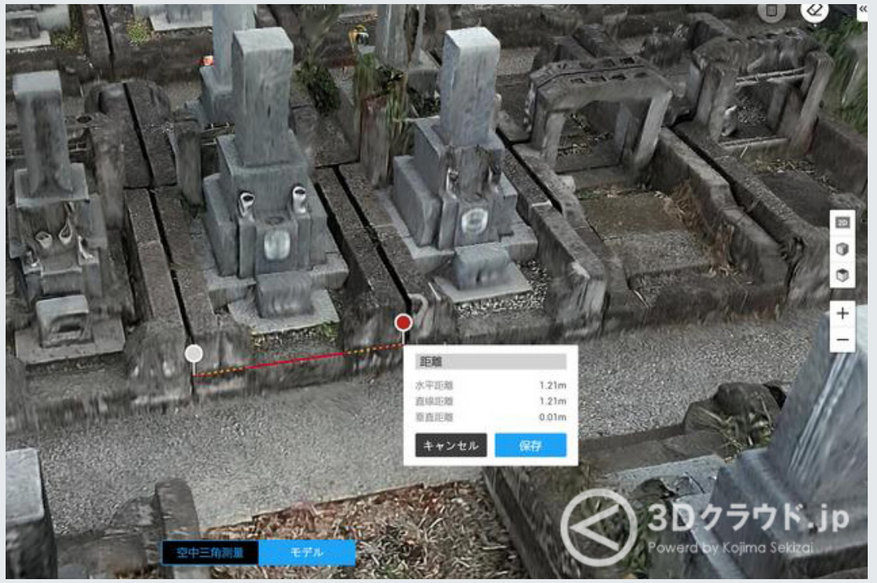
事業者名：有限会社小島石材店

Case 3

墓石と測量の専門技術を融合した全国寺院霊園3Dシステムの開発

横浜市営三ツ沢墓地前で１００年以上の歴史がある小島石材店。長年培ってきた信頼と伝統に加え、最新の測量技術を取り入れた寺院霊園の3Dモデルを事業化した。ドローンと地上型レーザーを活用した測量技術を導入し、従来の墓地区画の図面作成を大幅に省力化した。



開発したシステム/ 現地に行かなくてもPC上で、墓地や構造物の寸法・面積・体積の測定が可能

補助事業のきっかけ

・代が絶えるお墓を手放し、近くの永代供養墓や樹木葬に移したいという檀家の相談が増加している。寺院は永代供養墓や樹木葬を開発したいが、霊園図面が無く、検討時に高い費用で図面作成する必要があった。
・墓埋法に「霊園の図面を備えなければならない」と明記されているが、図面が無い霊園がある。

事業計画の概要

・同じ宗派の寺院霊園の形状を3D化し、PC上で現地調査と同等の情報が得られるシステムを構築。
・現地測量にはドローンを使用し、短時間で高精度の測量を実現。空撮では確認できない部分は、地上型レーザー測量で補完した。

事業化状況

・現地調査と同等のデータを高精度でPC上で確認できるようになった。設備投資により、従来の墓地図面作成を高いレベルで省力化できた。
・当初ターゲットとしていた寺院・霊園に加え、寺院各種開発会社や不動産デベロッパーなど新たな業種からの引き合いもあり、投資回収の目処も立ちつつある。

様変わりするお墓

当社は、１９１９年に石材店として創業し、横浜市営三ツ沢墓地前で１００年を超えて事業を営んでいます。近年、墓じまいを伴う永代供養墓や樹木葬などの新しい埋葬が広まり、特に都市部ではお墓に対する人々の価値観が変わりつつあります。このような変化に対応したい寺院ですが、広大な土地・離れた場所にある複数の霊園・入り組んだ地形などにより、必要な敷地図面や墓地区画図面が備えていないケースが多く、加えて、古来かつ広大な土地のため、青地や赤道等の混在・土地の占有などで土地境界確定が出来ていない、といった特有の土地問題があります。そこで、寺院の土地問題を一手に解決できる方法を考え、ドローン測量を活用した霊園の高精度3Dデータ化事業を目指しました。

事業化過程での気づき

霊園の図面化で最も大きな課題の一つが従来型測量の高いコストですが、大幅に削減できると考えました。具体的には、寺院霊園の墓地区画全体を短期間で3D化し、PC上で必要箇所の寸法を測ることができるサービスの構築です。補助事業ではドローンを活用し、高精度カメラで空撮を行い、建物や樹木で隠れる部分は地上型レーザーで補完することで、誤差±2㎝以内の高精度な3Dデータ化を実現しました。3Dデータは霊園の開発・管理だけでなく、災害時のお墓の復元にも役立つので、積極的に提案しています。また、ホームページで測量実績を公開した所、不動産開発会社からの測量依頼も増えており、新たな顧客層へのアプローチを可能にしています。

これまでの取り組みを振り返ると試行錯誤の連続でしたが、その過程で得た学びは、可視化の高いドローン測量と都市部に適した地上型レーザー測量を、管理か設計開発かで使い分けることの重要性でした。私は常に「合理的な一石三鳥」で行動しますが、今回、あらゆる3D測量機器を導入し、顧客要望に合わせて臨機応変に対応できたことが成果の要因と思います。

この技術と伝統を融合させたサービスを研鑽して、全国の霊園、ひいてはあらゆる業界用途に提供していきたいと考えています。

企業概要

3Dクラウド.jp
Powerd by Kojima Sekizai

横浜で石材業を営んで100年超の老舗で、現在4代目になる。店舗の前にある三ツ沢墓地にて、花・線香を売るいわゆる御茶屋という事業と石材業を行っている。当社は、建設業石工事業・土木工事業・とび土工工事業・建築工事業・造園業の建設許可を持つ。また近年、土地家屋調査士及び測量士の資格取得・各測量機器の導入・実務経験を経て、寺院霊園に特化した測量事業を確立している。

- 有限会社小島石材店
- 代表取締役　小嶋博文
- 1919年1月
- 〒221-0851 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢中町18-2
- 2人
- 1,000万円
- 045-624-9003
- 土木建築サービス業
- WEBサイト

取材の現場から

小嶋社長は、独自性を発揮するために積極的に資格取得に取り組んできた。本業界は繁忙期と閑散期の差が大きいので、閑散期の時間を学習に充てたその積み重ねが、老舗としての信頼と最新の測量技術を融合させた、石材店としてのユニークなポジショニングを実現している。市場が刻々と変化する中で、リスキリングによって新たな事業を切り拓いた好例であると言える。

サービス紹介 /従来の２Ｄ測量機の他、あらゆる3D測量方式の機材を導入し、顧客ニーズに幅広く対応

左/左側が従来のTS機器、右側が地上型レーザースキャナー　右上/写真と見間違うほどの3Dモデル
右下/新たに導入した測量用のドローンを持つ代表取締役の小嶋 博文社長